

一般質問



新関 一夫 議員



録画映像

子育て支援に関する件

問 ヤングケアラーの実態と今後の取り組みは

答 市長
相談事例はないが、調査結果など踏まえ必要な体制と支援を検討する

問 急激な人口減少を背景として子育て支援は、喫緊の課題となっておりますが、ヤングケアラーについて現在の当市の実態と今後の取り組みについて伺います。
答(市長) 市は、令和7年度から5カ年の期間とする第3期子ども・子育て支援事業計画の策定のためニーズ調査を実施予定で、この調査によりヤングケアラーの実態を把握したいと考えています。
現時点では、総合相談窓口の「子ども家庭総合支援拠点」にヤングケアラーと思われる子どもからの相談はありませんが、ポスター等を配布するなど、周知や啓発活動を行い、今後も、国の制度内容を注視しつつ、調査結果と併せ必要な体制と支援を検討してまいりたい。

ワイン事業に関する件

問 観光・商工振興を図るため文月・向野地区に店舗を誘致できる制度は

答 市長
農業者が自らの生産物で行うグリーン・ツーリズム計画に位置付けすることで建設が可能

問 三ツ石地区の北斗ワインヤード及び文月・向野地区でのワイン生産等の事業展開について進捗状況をお聞きます。
また、本市にとり、ワイン事業を契機として、観光振興・商業振興を図っていくことが重要なことと認識しています。
文月・向野地区に、「カフェ」や「ハンドメイド」の店等を誘致できる制度や計画が進んでいるのかお聞きます。
答(市長) 三ツ石地区にある北斗ワインヤードは、現在約18・1ヘクタールに約1万8千本の醸造用ブドウの苗木が植え付けられ、昨年に収穫のシャルドネを使用したワインが、今年6月から約500本限定で発売されています。
文月・向野地区については、今年秋に(株)農楽(のら)とデュエプンティ(株)の2つのワイナリーが完成し初仕込みが行われる予定で、(株)トロッコもワイナリーを

計画し、(株)ヒュッケは、農泊施設を計画しています。

市は、グリーン・ツーリズム計画を見直し、グリーン・ツーリズムに必要な施設に限り、建築が認められるよう進め、文月・向野地区を収穫体験型観光エリアと位置付け、総合的な観光型農園として振興を図っていくことにしています。
なお、文月・向野地区は、農業に必要な建物以外は、建築することができない地域となっておりますが、農業者が自らの生産物等で行うのであれば、グリーン・ツーリズム計画に位置付けることにより、特例的に建設が可能になるものです。



北斗シャルドネ(初収穫)2022

北海道新幹線トンネル工事における発生土に関する件

問 柳沢地区に仮置きの発生土の最終的な処分は

答 市長
村山地区受入地の状況が納得できる見通しを確認後に協議・検討する

LED照明設備設置に関する件

問 一者特命随契はガイドラインに合致していたのか

答 市長
ガイドラインに抵触しているとは考えていない

問 市は、本年1月に「北斗市随意契約ガイドライン」を策定しましたが、「LED照明設備設置特命随契」がガイドラインと合致していたのかをお尋ねします。
また、LED照明設置の一者特命随契について、現在どのように考えているか。

答(市長) あえて申し上げるとすれば、より慎重な検討・対応が必要だったということは否めませんが、ガイドラインに抵触しているとは考えておりません。
本件に関しては、監査結果でのご指摘、一般会計決算認定に対する付帯決議等を真摯に受けとめ、今後の円滑な市政運営に努めてまいりたい。

問 LED照明設備設置特命随契において、一者しかないとはい込んだのは誰だったのか。

答(副市長) この件については、私が中心となった検討の中で判断をしました。